

B 個別学習

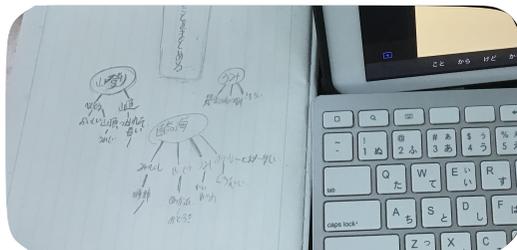
B4 表現・制作

学習の目標

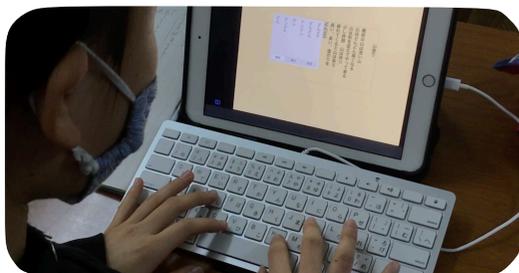
作品の形式（俳句・短歌・詩など）を決めて、比喻や反復などの工夫を取り入れて作品を作る。文の修正や語順の入れ替えをする上で効果的にiPadを活用することができる。



①電子黒板を使って前時の学習の振り返りを行なっています。反復や比喻、語順の入れ替え、リズムなどについて工夫することや形式は、俳句・短歌・詩の3つであることを確認しました。



②自分にとって書きたいことを詳しく思い出すためにノートに「イメージマップ」をいくつか書いて検討をしています。これをもとに何を中心に取り上げるかが児童の頭の中で明らかになっていきました。



③伝えたいことを意識しながら詩の形式で書くことにしました。比喻やくり返しなどを意識しながら仕上げていきます。言葉や文の順序を変えるなどしながら、言葉のリズムを整えていきました。



④完成した作品は画面キャプチャして、schoolTaktに貼り付けて共有します。工夫を取り入れた友達の作品を電子黒板で共有して、さらに自分の表現にかかします。次時はさらに推敲を重ね完成させます。

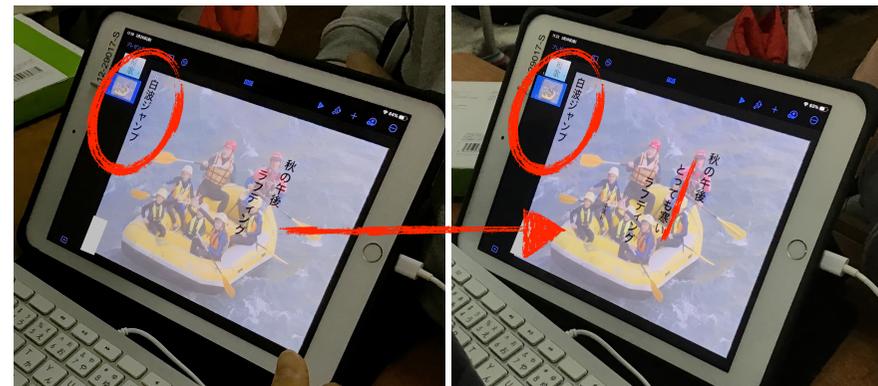
西春近南小学校 6年 座光寺翔 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました



Keynoteで効果的に推敲を行う

iPadを活用して文の修正や語順の入れ替えを行う

Keynoteを使うとキーワードを自由に書き込んだり、移動させたりしながら文章の構成を考えていくことができます。



上の写真の作品を制作している児童は「白波ジャンプ」という言葉に思い入れを持ちました。大切にしたいと思った語句を左上に固定したままで、ラフティングでの思い出を表現するために、いろいろ語句を並べていきました。

語句の順序を入れかえるたびに、声に出して読み、調子のよさを確かめました。どのようにしたら読み手に気持ちが伝わっていくのかを考えて推敲していきます。

ラフティングの写真を背景に入れたことは児童が発想を広げる上で大きな支援となっていました。（最終的に出来上がった作品は左ページの写真④です。）



キーボード入力

小学校3年生の国語の授業でローマ字を履修しますので、キーボードでの入力を行うことができますようになります。参観させていただいた授業でもスムーズに入力が行われていました。Pagesは文章を書くことに使われるAppですからキーボードの練習にも適しています。